



十月社会主義革命のきりひら
いた道に沿って前進しよう

偉大な十月社会主義革命五十周年を記念して

外文出版社
北京

十月社会主義革命のきりひら
いた道に沿って前進しよう

偉大な十月社会主義革命
五十周年を記念して

外文出版社
北京

毛主席のことば

十月革命の道は、根本的にいって、全人類発展の
共通の光明にみちた大道である。

毛主席のことば

ソ連は最初の社会主義国であり、ソ連共産党はレ
ーニンがつくりあげた党である。ソ連の党と国家の
指導権はいま修正主義者にとつとられているとはい
え、わたしは同志たちに、ソ連の広範な人民、広範
な党員と幹部はよい人たちであり、革命を求めてお
り、修正主義の支配はそう長く続かないだろう、と
いうことをかたく信じてもらいたい。

毛主席のことば

全世界のマルクス・レーニン主義者は団結し、全世界の革命的人民は団結して、帝国主義を打倒し、現代修正主義を打倒し、各国の反動派を打倒しよう。帝国主義もなく、資本主義もなく、搾取制度もない新しい世界がかならず立ち立てられるであろう。

目次

首都人民の十月革命五十周年記念集会における

林彪同志の演説

（一九六七年十一月六日）…… 1

十月社会主義革命のきりひらいた道に沿って前進しよう

——偉大な十月社会主義革命五十周年を記念して

…… 『人民日報』、『紅旗』、『解放軍報』編集部（一九六七年十一月六日）…… 13

首都人民の十月革命五十周年記念集会における

林彪同志の演説

(一九六七年十一月六日)

同志のみなさん、紅衛兵の小勇将のみなさん、友人のみなさん

きょう、わが国の人民は全世界のプロレタリア階級、革命的人民とともに、偉大な十月社会主義革命五十周年を盛大に記念しています。

偉大なレーニンの指導した十月革命は、人類史の転換点でありました。

十月革命の勝利は、資本主義の暗黒支配をつき破って、世界最初のプロレタリア独裁の国家をうち立て、プロレタリア世界革命の新しい紀元をきりひらきました。

マルクス、エンゲルスが科学的社会主義の学説をうち立ててから、国際プロレタリア階級は、共産主義の偉大な理想を実現するために、あとからあとと身を挺してつきすすみ、英雄

的な犠牲をばらい、百年余にわたる困難にみちた闘争をおこなって、人類の解放事業に不滅の功績を立てました。

レーニンは第二インターの修正主義との闘争のなかで、十月社会主義革命を指導する偉大な実践のなかで、プロレタリア革命とプロレタリア独裁をめぐる一連の問題を解決し、社会主義の一国内における勝利の問題を解決し、マルクス主義をレーニン主義の段階に発展させました。レーニン主義とは、帝国主義とプロレタリア革命の時代のマルクス主義のことです。十月革命の砲声は、レーニン主義を全世界におくりとどけ、世界の様相を一新させました。

五十年このかた、全世界のプロレタリア階級と革命的人民は、マルクス・レーニン主義の旗じるしのもとに、十月革命の道に沿って、世界の歴史を一つのまったく新しい時代にまでおしすすめてきました。それは、帝国主義が全面的な崩壊にむかい、社会主義が全世界的な勝利にむかう時代です。それはプロレタリア階級とブルジョア階級が全世界で大決戦をくりひろげる偉大な新しい時代です。

中国人民は偉大な指導者毛主席の指導のもとに、民族民主革命の勝利をかちとったのち、さらに社会主義革命と社会主義建設の偉大な勝利をかちとりました。社会主義の中国は、すでに

世界革命の堅固なトリデになっています。英雄的なアルバニア人民は、十月革命の道をまもりぬき、ヨーロッパにあざやかな赤旗をうち立てました。ベトナム人民の抗米救国戦争は、全世界人民の反帝闘争に輝かしい手本をうち立てました。アジア、アフリカ、ラテンアメリカの民族民主革命運動はいま、すさまじい勢いで発展しています。マルクス・レーニン主義の隊列はたえず強大になっており、国際共産主義運動には新しい局面があらわれてきています。

半世紀まえにくらべると、現在の世界プロレタリア革命の内容ははるかに深刻であり、その規模ははるかに大きく、その闘争ははるかに激烈です。新しい歴史的時代はマルクス・レーニン主義者のまえに、一連の新しい重大な問題を提起しています。しかし、それも結局、やはり権力を奪取し、権力をうち固めるといふこのもつとも根本的な問題に帰着します。

毛主席は、「世界中のすべての革命闘争はみな権力を奪取し、権力をうち固めるためのものである」とのべたことがあります。これはマルクス・レーニン主義の偉大な真理です。

マルクス・レーニン主義と修正主義との闘争は、従来から、この根本問題に集中されてきました。フルシチョフとその後継者ブレジネフ、コスイギンの手合いに代表される現代修正主義は、世界人民の革命に気遣いのように反対し、プロレタリア独裁を公然と解消し、ソ連で資

本主義の全面的な復活をすすめています。これは十月革命にたいする大きな裏切りです。これはマルクス・レーニン主義にたいする大きな裏切りです。これは、偉大なソ連人民と全世界人民にたいする大きな裏切りです。そのため、現代修正主義の気違いじみた進攻を完全に粉碎せず、偉大なレーニンのきりひらいた十月革命の道をまもるために断固として立ちあがらず、また新しい歴史的条件のもとでこの道に沿ってひきつづき前進し、どのようにして権力を奪取し、権力をうち固めるかという問題を徹底的に解決しないならば、プロレタリア階級は最後の勝利をかちとることができず、たとえ権力を奪取しえたとしても、ふたたび権力を失い、ソ連人民のように、新しいブルジョア特権階層に支配されるおそれがあります。

われわれにとつて喜びにたえないのは、毛沢東同志がプロレタリア革命とプロレタリア独裁にかんするマルクス、エンゲルス、レーニン、スターリンの学説を全面的にうけつぎ、発展させたために、世界プロレタリア革命のこのもつとも根本的な問題、つまり権力を奪取し、権力をうち固める道の問題が、理論の面と実践の面でより高い段階にひきあげられたことです。われわれの偉大な指導者毛主席は、マルクス・レーニン主義をまったく新しい高峰に発展させました。無敵の毛沢東思想は、ほかでもなく、帝国主義が全面的な崩壊にむかい、社会主義が全

世界的な勝利にむかう時代のマルクス・レーニン主義です。

毛主席は中国革命の偉大な闘争を指導するなかで、武力による権力奪取をめぐる一連の複雑な課題を天才的に解決しました。毛主席の指導のもとに、中国人民は世界プロレタリア革命史上もつとも長期の、もつとも激烈な、もつとも困難な、もつとも複雑な人民革命戦争をおこなって、プロレタリア独裁の赤色政権をうち立てたのです。

毛主席が中国人民を指導して武力で権力を奪取した道は、これを概括しますと、プロレタリア政党の指導のもとに、農村で農民大衆を立ちあがらせて遊撃戦争をおこない、土地革命をくりひろげ、農村根拠地をうち立て、農村をもつて都市を包囲し、最後に都市を奪取するという道にほかなりません。これは十月革命の武力による権力奪取の道の新しい、偉大な発展です。

毛主席は、「革命の勝利は、いつも、反革命勢力のわりに弱いとところから、さきにはじまり、さきに発展し、さきに勝利する」とのべています。現代では、すべての反動支配階級がいつも中心都市をしつかりと押えているため、革命的政党は反動支配の弱い環、弱い地帯を利用して、大衆を十分に立ちあがらせ、遊撃戦争をおこない、革命的な、強固な根拠地をつくりあげ、それによつてみずからの力をたくわえ、鍛えあげ、長期の戦闘をつうじて革命の完全な勝

利を一步一步かちとっていかねばなりません。したがって、大衆に依拠し、農村革命根拠地をうち立て、農村をもって都市を包囲することは、こんにち、世界の被抑圧民族と被抑圧人民が武力による権力奪取をめざして奮闘するさい、しんげんに考え、解決しなければならぬ歴史の課題です。

毛沢東同志はプロレタリア階級による権力奪取の問題でレーニン主義を創造的に発展させたばかりでなく、プロレタリア独裁をうち固め、資本主義の復活を防ぐという、現代におけるもっとも重要な問題でもレーニン主義を画期的、創造的に発展させました。

レーニンは十月革命が勝利したその日から、新生のソビエト政権をうち固めることをひじょうに重視しました。レーニンはプロレタリア独裁のもとの階級闘争の鋭さ、長期性を見てとっていました。そして、「資本主義から共産主義への移行は、歴史的な一時代である。この時代が終わらないあいだは、搾取者には必然的に再興の望みがのこされていて、この望みは再興のくわだてに転化する」と指摘しました。

ソ連やその他いくつかの社会主義国に資本主義の復活があらわれました。これは、ここ五十年らしい国際共産主義運動の歴史でもっとも大きな教訓です。この冷酷な事実は、どのように

してプロレタリア独裁をうち固め、資本主義の復活を防ぐかという問題を、全世界のマルクス・レーニン主義者のまえに、きわだった形で提起しました。

ほかでもなく、現代の世界のプロレタリア階級の偉大な教師毛沢東同志が、新しい歴史的條件のもとで、世界のプロレタリア独裁の歴史的経験を系統的に総括し、社会主義社会の矛盾を科学的に分析し、社会主義社会における階級闘争の法則を深くほりさげて解明して、プロレタリア独裁のもつべき革命をおこなうことについての一連のまとまった理論、路線、方針、方法、政策を提起したのです。毛主席はその偉大な気迫、高度の英知をもって、史上はじめてのプロレタリア文化大革命のうちに指導しました。これはマルクス・レーニン主義が毛沢東思想の段階にまで発展したことを示すきわめて重要なめじるしです。

プロレタリア文化大革命の勝利は、世界人口の四分の一を占める中国に、プロレタリア独裁をうち固め、社会主義革命を最後までおしすすめる、光明にみちた大道をきりひらきました。いま帝国主義、現代修正主義、各国反動派とたたかっている全世界のプロレタリア階級と革命的人民はみな、われわれのプロレタリア文化大革命をだんこ支持しており、かれらはわが国のプロレタリア文化大革命の勝利のなから、このうえない励ましをうけ、光明にみちた前途を

みてとり、勝利への確信を深めています。

アメリカをかしらとする帝国主義者とその手先現代修正主義者、各国反動派は、あらゆる悪知恵をしぼって、われわれのプロレタリア文化大革命をのしり、ひぼうしています。それはまさに、われわれの勝利が敵にどれほど手痛い打撃をあたえたかということ、さらにかれらはかならず滅亡する一群の吸血鬼にすぎないということを、反面から裏付けているのです。

世界はまえへ、まえへと発展していくものです。世界の法則を反映する理論もたえず発展していきます。

毛沢東思想はわれわれの時代の旗じるしです。

毛沢東思想という現代の最高水準のマルクス・レーニン主義をしっかりとにぎれば、被抑圧民族と被抑圧人民は、みずからの闘争によって解放をかちとることができます。

毛沢東思想という現代の最高水準のマルクス・レーニン主義をしっかりとにぎれば、すでにプロレタリア独裁をうち立てた国家は、みずからの闘争によって資本主義の復活を防ぐことができます。

毛沢東思想という現代の最高水準のマルクス・レーニン主義をしっかりとにぎれば、修正主

義に政権をのとりられた国家の人民も、みずからの闘争によって修正主義の支配をうち倒し、プロレタリア独裁を再建することができます。

マルクス・レーニン主義、毛沢東思想が全世界各国人民の革命的实践と結びつけば、ふるい世界全体を徹底的にうち砕くことができます。

同志のみなさん、紅衛兵の小勇将のみなさん、友人のみなさん

十月革命以後の五十年は、社会主義が資本主義と、マルクス・レーニン主義が現代修正主義と激しく格闘し、つぎつぎと勝利をおさめてきた五十年です。帝国主義制度はすでに、日は西山にせまり、氣息奄々というありさまです。フルシチョフ修正主義の出現は、帝国主義政策の産物であり、帝国主義の断末魔のあがきの反映です。帝国主義と修正主義はこれからも結託して攪乱をおこなうでしょうが、反動的な逆流は、どこまでいっても主流になることはありません。歴史の弁証法は、はばむことのできないものです。今後、世界のプロレタリア階級と革命的人民は、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想の偉大な赤旗をいっそう高くかかげ、十月革命によってきりひらかれた道を堂々と前進していくことでしょう。

十月革命を裏切ったものはみな、せつたいに歴史の懲罰をまぬかれることはできません。フ

ルシチヨフはとつくに失脚しました。ブレジネフニコスイギン集団はいっそう拍車をかけて裏切り政策を実行していますが、かれらの寿命もそう長くはありません。光栄ある革命の伝統をもつソ連のプロレタリア階級と勤労人民は、偉大なレーニンとスターリンの教えをけつして忘れないでしょう。かれらはかならずレーニン主義の旗じるしのもとに立ちあがって革命をおこない、修正主義反動集団の支配をうち倒して、ソ連をふたたび社会主義の軌道に立ちもどらせるでしょう。

同志のみなさん、紅衛兵の小勇将のみなさん、友人のみなさん

われわれの偉大な祖国はすばらしい情勢を迎えています。プロレタリア文化大革命は、偉大な指導者毛主席の最新の指示にみちびかれて、勝利のうちに前進しています。

われわれは、かならず十月革命の偉大な旗じるしをいっそう高くかかげ、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想の偉大な旗じるしをいっそう高くかかげて、プロレタリア文化大革命を最後までやりぬかなければなりません。

われわれは、かならずわたしたちの偉大な祖国をいっそう強大な世界革命の根拠地にきずきあげなければなりません。

われわれは、かならず世界のプロレタリア階級と各国人民の革命闘争をいっそう力強く支援しなければなりません。

われわれは、かならず全世界の革命的人民とともに、アメリカをかしらとする帝国主義、ソ連修正主義裏切り者集団を中心とする現代修正主義に反対する闘争を最後までやりぬかなければなりません。

われわれは、かならずいっそう努力して毛沢東思想を学習し、つかみ、毛沢東思想を全世界にいっそうひろめなければなりません。

これは歴史がわが国人民にあたえた光栄ある使命であり、わが国人民の当然果たすべき国際主義の義務であります。

われわれの偉大な指導者毛主席は、「全世界のマルクス・レーニン主義者は団結し、全世界の革命的人民は団結して、帝国主義を打倒し、現代修正主義を打倒し、各国の反動派を打倒しよう。帝国主義もなく、資本主義もなく、搾取制度もない新しい世界がかならずうち立てられるであろう」と呼びかけています。

われわれは毛主席のこの偉大な呼びかけを実現するために勇敢にたたかおうではありません

か！

偉大な十月社会主義革命万歳！

偉大なプロレタリア文化大革命万歳！

全世界のプロレタリアは団結しよう！

全世界のプロレタリアと被抑圧人民、被抑圧民族は団結しよう！

無敵のマルクス主義、レーニン主義、毛沢東思想万歳！

偉大な教師、偉大な指導者、偉大な統帥者、偉大な舵手毛主席万歳、万々歳！

十月社会主義革命の

きりひらいた道に沿って前進しよう

——偉大な十月社会主義革命五十周年を記念して

『人民日報』、『紅旗』、『解放軍報』編集部

偉大な十月社会主義革命から、すでにまる五十年がすぎた。

プロレタリア階級の偉大な教師レーニンの指導した十月社会主義革命は、マルクス、エンゲルスのうち出したプロレタリア独裁の理論をはじめて現実に変え、世界の六分の一の土地に、人類史上最初プロレタリア独裁の国家をうち立てた。

人類歴史の新しい紀元がはじまった。

世界のプロレタリア革命とプロレタリア独裁の新しい時代がはじまった。

プロレタリア階級の指導する被抑圧民族の解放闘争の新しい時代がはじまった。

現代のもつとも偉大なマルクス・レーニン主義者毛沢東同志は、十月社会主義革命の偉大な歴史的意義について、きわめて深い解明をおこなった。毛沢東同志はつぎのように指摘している。

「第一次帝国主義世界大戦と最初に勝利した十月社会主義革命は、世界歴史全体の方向を変え、世界歴史全体の時代を画した。」

「十月革命は、世界人民の解放事業に広範な可能性と現実的な道をひらいた。そして、十月革命は、西方のプロレタリア階級から、ロシア革命をへて、東方の被圧迫民族にいたる、世界帝国主義に反対する新しい革命戦線をうちたてた。」

「十月革命の道は、根本的にいって、全人類発展の共通の光明にみちた大道である。」

半世紀らい、マルクス・レーニン主義の偉大な旗にみちびかれ、十月革命の光に照らされて、世界には天地をくつがえすような変化がおこった。いま、十月革命の天をも焦がす烈火は、全世界で燃えあがっている。

偉大なプロレタリア独裁の中華人民共和国は、巨人のように世界の東方にそびえ立っている。七億の中国人民はいま、われわれの偉大な指導者毛主席のみずからおこし、指導する史上

に前例のないプロレタリア文化大革命をくりひろげている。中国の前途と人類の運命にかかわるこの偉大な革命は、すでに決定的な勝利をおさめている。

偉大なマルクス・レーニン主義者エンベル・ホッジャ同志をはじめとするアルバニア労働党は、アルバニア人民を指導して、プロレタリア階級の英雄的な気概で、社会主義革命を堅持し、プロレタリア独裁を堅持し、ヨーロッパに真紅の社会主義の旗をうち立てている。

三千万のベトナム人民は、アメリカ帝国主義の狂気じみた侵略と英雄的にたたかい、輝かしい戦果をおさめ、全世界人民に反米武装革命闘争の偉大な手本をうち立てている。

ラオス、ビルマ、フィリピン、タイ、インド、インドネシアなどの国の人民はいま、革命的武装闘争の道をあゆみ、それを堅持している。アジア、アフリカ、ラテンアメリカの広大な地域の民族民主革命運動はいま、すさまじい勢いでくりひろげられている。

西ヨーロッパ、北アメリカ、オセアニアのプロレタリア階級はいま、目ざめつつあり、アメリカ帝国主義と自国の独占資本に反対する闘争に身を投じている。

要するに、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想の旗のもとに、国際共産主義運動はフルシチョフ修正主義のあらゆる汚物を洗い流しており、全世界の革命的な共産主義者と広範な革命

的の人民は、十月革命の道に沿って、帝国主義もなく、資本主義もなく、搾取制度もない新しい世界をつくり出すために奮闘しているのである。

レーニンとスターリンの指導のもとに、ソ連人民は革命的な創造的精神をもって、資本主義の支配する暗黒の世界で、暴力革命をつうじてふるい国家機構を粉碎し、プロレタリア独裁を樹立し、四方に光を放つ灯台をつくりあげた。その後の年代において、ソ連人民はまた十月革命の道に沿って、白衛軍の反乱と十四カ国の武力干渉にうち勝つという偉大な勝利をおさめ、党内にもぐりこんだ反革命的な、ブルジョア階級の代表者トロツキー、ブハーリンらの日和見主義路線を粉碎するという偉大な勝利をおさめ、社会主義的改造と社会主義建設の偉大な勝利をおさめ、反ファッシヨ戦争の偉大な勝利をおさめた。これらすべての光栄ある業績には、十月革命の英雄的なむすこやむすめたちの血と汗がにじみこんでおり、ソ連プロレタリア階級の革命的英雄主義と崇高な国際主義のさん然たる光がきらめいている。

きょう、中国人民と全世界のマルクス・レーニン主義者、世界各国の革命的人民は、偉大な十月社会主義革命五十周年を記念しているとき、十月革命の偉大な創始者レーニンとその後継者スターリンを心からしのんでいる。われわれは、十月革命の道をきりひらき、プロレタリア

独裁をうち立てた光栄あるボリシエビキ党と偉大なソ連プロレタリア階級の不滅の歴史的功績を永遠に忘れないであらう。

しかし、ソ連プロレタリア階級と国際プロレタリア階級の誇りとする最初の偉大な社会主義国、レーニンとスターリン時代のいきいきとした気運にみちていたソ連は、フルシチョフをはじめとするソ連共産党内の資本主義の道をあゆむ最大のひとにぎりの実権派に党と国家の指導権をのっとられたために、いまではすでに変色してしまっている。かつて全世界人民から光明と見なされ、希望と見なされていた強大な赤色のトリデは悪名高いフルシチョフとその後継者ブレジネフ・コスイギン修正主義集団の反動的な支配のもとに、すでに現代の反革命修正主義の中心に変わり、世界の反動勢力のいま一つの大本营に変わっている。

いま、ブレジネフ、コスイギンらの裏切り者一味は、厚かましくも、十月革命事業の後継者をもって自任し、十月革命五十周年「記念」の旗をふりかざして、ペテンをもてあそび、人をあざむいている。これは偉大なレーニンにたいする最大の侮辱であり、偉大な十月革命にたいする最大の侮辱であり、偉大なソ連人民にたいする最大の侮辱である。おまえたちのような十月革命の裏切り者どもに、十月革命を記念するなんの資格があるのか。おまえたちには、歴史

の法廷の被告席に立つて、全世界のマルクス・レーニン主義者と幾億万の革命的人民から裁きをうける資格しかないのである。

ほかでもなく、おまえたち裏切り者一味がレーニン主義の偉大な旗じるしをふみにじり、プロレタリア独裁の事業を裏切り、「全人民の党」、「全人民の国家」を看板に、レーニンのきずきあげたソ連共産党をブルジョア政党に変え、ソ連人民が鮮血と生命でうち立てたプロレタリア独裁を勤労大衆を弾圧するブルジョア独裁に変え、十月革命のあらしのなかで生まれたソビエト国家を修正主義国家に変え、ブルジョア国家に変えたのである。ソ連人民は主人公としての権力を奪われ、ふたたびひとにぎりの卑しむべき労働貴族——新しいブルジョア特権階級の抑圧と奴隷化のもとにおかれている。

ほかでもなく、おまえたち裏切り者一味が社会主義の旗じるしを捨てさり、十月革命の社会主義事業を台なしにし、「共産主義建設」のべールをまもって、資本主義の利潤法則と自由競争を社会主義の計画経済と労働に応じて分配をうける原則にとつてかわらせ、全人民所有制企業とコルホーズを資本主義的企業と富農経済に変質させたのである。

ほかでもなく、おまえたち裏切り者一味が「全人民の文化」の名にかくれて、反動的な修正主義思想、腐れきったブルジョア生活様式および醜悪な「西方の文化」をさかんにもちあげたのである。ブルジョア階級のイデオロギーは、こんにちのソ連の思想・文化の全領域を支配している。十月革命によつてはぐくまれた社会主義文化は目もあてられないほど破壊されている。レーニンとスターリンによつて直接つちかわれた共産主義の道徳・気風は、日とともに利己主義の氷雪のなかにうずもれていつている。

ほかでもなく、おまえたち裏切り者一味がプロレタリア国際主義を裏切り、世界プロレタリア階級の革命事業を裏切り、「平和共存」、「平和競争」、「平和移行」を対外政策の総路線にし、アメリカ帝国主義の足もとにひれふし、世界でもっとも反動的なすべての勢力と反共、反人民、反革命、反中国の新しい「神聖同盟」を結んでいるのである。おまえたちはいたるところで修正主義のアヘンを売りさばき、人民大衆に麻痺させ、革命の利益を売りわたし、革命闘争を破壊し、なん千なん万という共産主義者と革命戦士を帝国主義とその手先に虐殺させている。

おまえたち裏切り者一味は、ソ連人民と全世界人民にたいして、はかり知れない犯罪を犯した。おまえたちはソ連人民のもっとも凶悪な敵であり、また世界の革命的人民の共同の敵であ

る。

毛沢東同志はつねづねわれわれにこう教えている。革命的政変、革命的人民は、つねに正反両面の教育をくりかえしうけるべきであって、比較と対照をつうじてはじめて、成熟したものに鍛えあげられるし、勝利をかちとる保証が得られるのである。反面教員の役割を軽視する人は、徹底した弁証法的唯物論者ではない。

ソ連や他の一部の社会主義国が現代修正主義者に権力をのつとられ、資本主義の全面的復活がしだいにあらわれたことは、全世界のマルクス・レーニン主義者と革命的人民につきのようなひじょうに深刻な歴史的教訓をあたえている。それは、プロレタリア階級が権力を手に入れたのちも、権力を失う可能性があり、プロレタリア独裁がブルジョア独裁に変わることもありうるということである。プロレタリア階級は、内外の敵の武力による政権転覆を防ぐほかに、さらに重要なことは、フルシチョフのような人物が内部から党と国家の指導権をのつとって、「平和的転化」の道をあゆむのを警戒しなければならない。フルシチョフ修正主義者はプロレタリア独裁の事業を裏切ることによって、国際プロレタリア階級の最大の反面教員となった。この意味からいえば、フルシチョフに一トンの「勳章」をあたえても、かれは十分にそれを行う資格があるのである。

偉大な、英雄的なマルクス・レーニン主義の旗手毛沢東同志と毛沢東同志をはじめとする中国共産党は、七億の中国人民を指導して、全世界のマルクス・レーニン主義者とともに、全世界の革命的人民とともに、プロレタリア階級のなにもを恐れぬ革命的気概で、ソ連修正主義裏切り者集団を中心とする現代修正主義にたいしてすさまじい勢いの偉大な闘争をくりひろげて、国際的に輝かしい勝利をおさめており、またひきつづきいっそう大きな勝利をおさめるであろう。

国際共産主義運動にたいする毛沢東同志のもっとも偉大な貢献は、毛沢東同志が中国のプロレタリア独裁の歴史的経験を系統的に総括し、十月革命いろいろの世界のプロレタリア独裁の歴史的経験を系統的に総括し、正面の経験を総括するだけでなく、反面の経験をも総括し、とくにソ連における資本主義の全面的復活の重大な教訓を総括し、プロレタリア独裁のもっともひきつづき革命をおこない、資本主義の復活を防止するという現代のもっとも重要な課題を、完全に、徹底的に解決したことである。これはプロレタリア独裁についてのマルクス・レーニン主義の学説の画期的な、偉大な発展である。

プロレタリア独裁の学説は、マルクスとエンゲルスがはじめて立ち立てたものである。パリのプロレタリア階級は最初の権力奪取という英雄的な試みをおこなった。パリ・コミューンは失敗したが、マルクスがのべているように、「コミューンの原則は永遠に存在するものであり、消滅できないものである」。

マルクスは『ゴータ綱領批判』のなかで、革命についてのかれのすべての学説を総括した有名な論断をおこない、「資本主義社会と共産主義社会とのあいだには、前者から後者への革命的転化の時期がある。この時期に照応してまた政治上の過渡期がある。この時期の国家は、プロレタリア階級の革命的独裁以外のなものでもありえない」とのべている。

レーニンは、第二インターの修正主義との闘争のなかで、プロレタリア革命とプロレタリア独裁についてのマルクス主義の学説をうけつぎ、まもり、発展させ、帝国主義の時代におけるプロレタリア革命の一連の問題を解決し、一国内で社会主義が勝利するという問題を解決して、マルクス主義を新しい段階すなわちレーニン主義の段階にまで発展させた。

十月革命ののち、レーニンは、プロレタリア独裁の条件のもとでも、なお鋭く複雑な階級闘争が存在し、なお資本主義復活の可能性が存在する、とたびたび指摘した。レーニンはつぎの

ようにのべている。

「ブルジョア権力がたおされたあとでも、ブルジョア国家が破壊されたあとでも、プロレタリア階級の独裁が樹立されたあとでも（旧社会主義と旧社会民主主義政党の俗物どもが考えているように）階級闘争はなくなりはいしない。それは、その形態を変えるだけで、多くの点でかえっていっそう激しくなる。」

「資本主義から共産主義への移行は、歴史的な一時代である。この時代が終わらないあいだは、搾取者には必然的に再興の望みがのこされていて、この望みは再興のくわだてに転化する。」

レーニンは、プロレタリア独裁の条件のもとで、なぜくつがえされたブルジョア階級がまだ反抗と復活活動をおこなう強大な力と条件をもっているのか、ということを深くほりさげて分析し、プロレタリア独裁をうち固め、強化する必要性を説いて、つぎのように指摘している。

「プロレタリア独裁は、より強力な敵、すなわちブルジョア階級にたいする新しい階級のまったく恐れを知らぬ、もっとも仮借ないたたかいであって、このブルジョア階級の反抗は、かれらが打倒される（たとえ、一国内であれ）ことによって十倍にも凶暴になるし、またその力

は、国際資本の力、ブルジョア階級のさまざまな国際的連係の力と強固さにあるばかりでなく、習慣の力、小規模生産の力にもある。なぜなら、小規模生産は、残念ながら、まだこの世におびただしくのこっていて、この小規模生産が、資本主義とブルジョア階級を、たえず、毎日、毎時間、自然発生的に、大規模に生みだしているからである。すべてこういう理由からして、プロレタリア独裁は必要なのである。」

レーニンはまた、イデオロギーの分野での階級闘争の重大さに注意し、つぎのようにはっきりと指摘している。

「われわれの任務は、資本家のあらゆる反抗、軍事的および政治的な反抗だけでなく、思想的なもつとも深刻な、もつとも強力な反抗をも、克服することである。」

レーニンのこうした輝かしい思想、こうした偉大な科学的予見は、プロレタリア独裁についてのマルクス主義の学説をひじょうに大きく発展させており、それはこんにち、十月革命の道を堅持するすべてのマルクス・レーニン主義者にとって、重要な現実的意義をもっている。

フルシチョフ、ブレジネフ、コスイギンらの現代修正主義者は、レーニンのこれらの思想を完全に裏切っている。毛沢東同志は、現代修正主義者と闘争するさいに、またプロレタリア独

裁を堅持することの必要性を解明するさいに、つねにレーニンのこれらのことばを忘れてはならない、とわれわれに教えている。

毛沢東同志はマルクス・レーニン主義を全面的にうけつぎ、まもり、発展させ、プロレタリア独裁のもとで革命を続行する偉大な理論を創造的にうち出すとともに、みずから人類史上最初のプロレタリア文化大革命の偉大な実践をおこし、それを指導している。これはマルクス主義がまったく新しい段階、つまり毛沢東思想の段階に発展したことを示すきわめて重要な目じるしである。

プロレタリア独裁のもとで革命を続行することについての毛沢東同志の理論の要点はつぎのとおりである。

一、マルクス・レーニン主義の対立面の統一の法則で社会主義社会を観察しなければならぬ。毛沢東同志はつぎのように指摘している。「対立面の統一の法則は宇宙の根本法則である。」「矛盾は普遍的に存在するのであり」、「事物の内部のこの矛盾性は、事物の発展の根本原因である。」社会主義社会のなかには「二種類の社会的矛盾がある。つまり、敵味方のあいだの矛盾と人民内部の矛盾である。」「敵味方のあいだの矛盾は敵対性の矛盾である。人民

内部の矛盾は、勤労人民のあいだでは非敵対性のものである。」毛沢東同志はまたわれわれに、「敵味方の矛盾と人民内部の矛盾という二種類の矛盾の境界線を区分し」、「人民内部の矛盾を正しく処理し」なければならず、そうしてはじめて、プロレタリア独裁は日まじに強固になり、強化され、社会主義制度は日まじに発展すると教えている。

二、「社会主義社会はかなり長い歴史的段階である。社会主義といふこの歴史的段階においては、なお階級、階級矛盾と階級闘争が存在し、社会主義と資本主義との二つの道の闘争が存在し、資本主義復活の危険性が存在している。」生産手段所有制にたいする社会主義的改造が基本的に達成されたのちにおいても、「階級闘争はまだ終わってはいない。プロレタリア階級とブルジョア階級とのあいだの階級闘争、各政治勢力のあいだの階級闘争、プロレタリア階級とブルジョア階級とのあいだのイデオロギー面での階級闘争は、なお長期にわたる、曲折したたたかいであり、ときにはひじょうに激しいものでさえある。」資本主義の復活を防ぎ、「平和的転化」を防ぐためには、政治戦線と思想戦線での社会主義革命をあくまでやりぬかなければならない。

三、プロレタリア独裁のもとでの階級闘争も、本質的には、依然として権力の問題である。

つまり、ブルジョア階級はプロレタリア独裁をくつがえそうとし、プロレタリア階級はプロレタリア独裁を大いにうち固めようとするのである。プロレタリア階級はさまざまな文化領域をふくむ上部構造で、ブルジョア階級に全面的な独裁をおこなわなければならない。「かれらにたいするわれわれの関係はぜったいに平等な関係などというものではなくて、一つの階級がもう一つの階級を抑圧する関係、つまりプロレタリア階級がブルジョア階級にたいして独裁または専政をおこなう関係であり、なにかこれとちがった関係、たとえば、いわゆる平等の関係、被搾取階級と搾取階級との平和共存の関係、仁義道德の関係などというものではありえない。」

四、社会の二つの階級、二つの道の闘争は、必然的に党内に反映してくるものである。資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派は、党内におけるブルジョア階級の代表者にほかならない。かれらは「反革命修正主義分子であって、いったん機が熟せば、権力を奪取して、プロレタリア独裁をブルジョア独裁に変えようとするものである」。われわれがプロレタリア独裁をうち固めるためには、「われわれの身边に眠っている」「フルシチョフ式の人物」を見破ることに十分気をくばらなければならない。そして、かれらをあますところなく暴露し、批

判し、打倒して、かれらが再起できないようにし、かれらにのっとられた権力を、だんことしてプロレタリア階級の手に奪い返さなければならぬ。

五、プロレタリア独裁のもとの革命を続行するうえで、もっとも重要なことは、プロレタリア文化大革命を展開することである。

「プロレタリア文化大革命では、大衆が自分で自分を解放するしかない。」「大衆がこの大革命運動のなかで、自分で自分を教育するようにならなければならない。」つまりこのプロレタリア文化大革命では、プロレタリア独裁のもとの大民主の方法を運用して、下から上へと大衆を思いきり立ちあがらせ、同時にまた、プロレタリア革命派の大連合をおこない、革命的大衆、人民解放軍および革命的幹部の革命的三結合をおこなうことである。

六、思想の分野におけるプロレタリア文化大革命の根本的綱領は、「私心とたたかい、修正主義を批判することである。」「プロレタリア階級は自己の世界観にもとづいて世界を改造しようとするし、ブルジョア階級も自己の世界観にもとづいて世界を改造しようとする。」したがって、プロレタリア文化大革命は、人びとのたましいに触れる大革命であり、人びとの世界観の問題を解決するものである。政治、思想、理論の面から修正主義を批判し、プロレタ

リア階級の思想で、ブルジョア階級の利己主義やあらゆる非プロレタリア思想にうち勝ち、教育を改革し、文学・芸術を改革し、社会主義の経済的土台に照応しないすべての上部構造を改革し、修正主義の根をとり除かなければならぬ。

プロレタリア独裁のもとの革命を続行することについての毛沢東同志がうち出した前述のこれらの理論は、プロレタリア独裁の時期における階級闘争についてのマルクス・レーニン主義の観点を天才的、創造的に発展させ、プロレタリア独裁の観点を天才的に発展させたもので、画期的な意義をもっており、マルクス主義発展史上に、第三の偉大な里程碑をうち立てたものである。

レーニンは五十年まえにかつてつぎのようにつよく指摘したことがある。「階級闘争の承認をプロレタリア独裁の承認に拡張する人だけが、マルクス主義者である。この点に、マルクス主義者と月みな小ブルジョア階級（ならびに大ブルジョア階級）ののもっとも深刻な相違がある。この試金石で、マルクス主義をほんとうに理解し承認しているかどうかをためさなければならぬ。」こんにち、プロレタリア独裁を承認すると同時に、プロレタリア独裁のもとなお革命を続行しなければならぬことを承認するもののみが、真のマルクス・レーニン主

義者だといえるのである。これこそマルクス・レーニン主義をほんとうに理解し、承認しているかどうかを検証する試金石なのである。

偉大な十月社会主義革命は、プロレタリア階級による権力奪取の道をきりひらいた。その基本的経験は、帝国主義とプロレタリア革命の時代に革命をおこなううえでの普遍的法則を反映している。中国のプロレタリア文化大革命は、プロレタリア独裁をうち固め、資本主義の復活を防ぎ、共産主義につうじる道をきりひらいた。その基本的経験は、プロレタリア独裁をうち立てたのち、共産主義へ移行する歴史的段階での階級闘争の普遍的法則を反映している。これからもさまざまな新しい問題があらわれ、さまざまな困難や曲折にぶつかるとはかもしれないが、中国のプロレタリア文化大革命が偉大な勝利をおさめたために、レーニンが十月革命の意義を評価した際のべたように、「本質的なことは、氷がくだかれ、行手がひらかれ、道がしめされているということである」。

スターリンはつぎのようにのべている。「十月革命は、ただ単に『民族的わく内での』革命ではない。それは、なによりもまず国際的な世界的な性格をもつ革命である。」十月革命がただ単に「民族的わく内での」革命ではなかったのと同様に、中国のプロレタリア文化大革命

も、ただ単に「民族的わく内での」革命ではなく、それは同時に国際的な性格をもつ革命でもある。この大革命は、全世界のプロレタリア階級と革命的人民から熱烈に支持されている。この大革命の偉大な勝利は、国際共産主義運動の新しい紀元をきりひらき、人類発展史に、かならず深遠な影響をおよぼすであろう。

先進的な革命理論は、つねにその理論にみちびかれる革命闘争の偉大な勝利とともに、ひろく伝えひろめられていくものである。五十年まえの十月革命はかつてマルクス・レーニン主義の伝播を大きくおしすすめ、世界革命の様相を一新させた。毛沢東同志に指導された中国革命の一九四九年の勝利は、世界の様相をいちだんと、そして大きく変えた。中国のプロレタリア文化大革命は、わずか一年あまりのあいだに、中国のフルシチョフをかしらとするブルジョア司令部をたたきつぶし、搾取階級のさまざまな威光を払い落としてしまった。この偉大な大衆の立ちあがりには、世界をゆさぶり、毛沢東思想にたいする世界人民の認識をまったく新しい高さにまでひきあげ、それを一段と深め、一段とゆたかにした。

世界の革命的人民は、毛沢東同志は現代におけるプロレタリア階級のもっとも偉大な教師であり、もっともすぐれた指導者であり、毛主席こそ現代のレーニンであるということを、ます

まずはつきりと認識するようになっていく。毛沢東思想は現代における最高水準のマルクス・レーニン主義であり、現代における帝国主義、修正主義、各国反動派をふるえあがらせているマルクス・レーニン主義であり、プロレタリア階級と広範な革命的人民のもっとも強大な思想的武器である。

毛沢東思想がひろまることによって、革命的な人びとはマルクス・レーニン主義と現代修正主義とのあいだの厳格な限界を、いつそうはつきりとさせることができた。いま、人びともう一度ふりかえって、フルシチョフとその門弟たちが労働運動の裏庭のクソだめのをえにしつらえた例のふるぼけた屋台店を見るなら、なにが香の高い花であり、なにが毒草であり、どれが十月革命の道であり、どれが十月革命に反する道であるかを、いつそうはつきりと見てとることができるのである。「全人民の党」、「全人民の国家」とわめきたて、プロレタリア独裁をはるかかたにほうりなげてしまったフルシチョフ修正主義の道化師どもが、ふたたび「共産主義の全面的な建設」という旗で人民をあざむこうとしても、それはますます困難になってきている。マルクス主義のペールをまとった議會気遣いどもが、ふたたびプロレタリア階級が武力による権力奪取に立ちあがるのをはばもうとしても、それはますます困難になってきてい

る。

いま、世界はすでに、毛沢東思想を偉大な旗じるしとする革命の新時代に突入している。一八世紀の末葉には、革命の中心はフランスにあった。一九世紀の中葉になるとそれはドイツに移り、プロレタリア階級が政治の舞台に登場し、マルクス主義が生まれた。二〇世紀の初葉になると、革命の中心はロシアに移り、レーニン主義が生まれた。その後、世界の革命の中心はまたしだいに中国に移り、毛沢東思想が生まれた。偉大なプロレタリア文化大革命をへて、中国といふこの世界の革命の中心は、いつそう強固になり、いつそう強大になった。

毛主席は、「中国人民は終始かわることなく、中国革命を偉大な十月社会主義革命の延長である」とみなし、それを無上の光栄と思っている」とのべている。いまわれわれがおこなっているプロレタリア文化大革命は、新しい歴史的条件のもとにおける、いつそう高い段階での十月革命の延長にはかならない。こんにち、わが国の人民が十月社会主義革命五十周年をもっともりっぱに記念するためには、十月革命の偉大な旗を高くかかげ、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想の偉大な旗を高くかかげ、だんことしてプロレタリア文化大革命を最後までやりぬき、全世界のすべての革命的なマルクス・レーニン主義者と各国人民をだんことして支持し、

かれらとともに、帝國主義に反対し、現代修正主義に反対し、各国反動派に反対する闘争を最後までやりぬくことである。

毛沢東同志は十月革命四十周年記念のとき、「社会主義制度は、とどのつまり、資本主義制度にとってかわるであろう。これは人びとの意志によつては左右できない客観法則である。反動派がどのように歴史の車輪の前進をはばもうとしても、革命は、おそかれ早かれ起こし、また、かならず勝利をおさめるであろう」と指摘している。

毛沢東同志はまた、一九六二年に、「ソ連は最初の社会主義国であり、ソ連共産党はレーニンがつくりあげた党である。ソ連の党と国家の指導権はいま修正主義者にのつとられてはいえ、わたしは同志たちに、ソ連の広範な人民、広範な党員と幹部はよい人たちであり、革命を求めており、修正主義の支配はそう長く続かないだろう、ということをかたく信じてもらいたい」とのべている。

ソ連にあらわれた資本主義の全面的な復活は、国際共産主義運動史におけるほんの一時の幕あけ音楽にすぎない。偉大なレーニンとスターリンの教えをうけ、十月革命の光榮ある伝統をもち、反ファッシヨ戦争の鍛練と試練をへたソ連の眞の共産主義者と偉大なソ連人民は、ソ連修正主義裏切り者集団が長期にわたつて自分たちの頭上に君臨していばりちらすのをけつして許すことはない、とわれわれはかたく信じている。かれらはいま、いろいろな方法を講じてソ連修正主義裏切り者集団とたたかっている。かれらはかならず偉大な十月革命の旗のもとに団結して、レーニン、スターリンの遺志をうけつぎ、長期にわたる闘争を堅持し、幾重もの暗黒のとばりをつきやぶつて、十月革命の赤い星に、ふたたびいっそうさん然たる光を放たせるにちがいない。

マルクス・レーニン主義、毛沢東思想の偉大な真理にさからうことはできない。全世界の九〇パーセント以上の人びとは、かならず革命をやるにちがいない。人民大衆はかならず勝利するにちがいない。毛沢東思想の偉大な革命の旗のもとに、十月革命がきりひらいたプロレタリア独裁の偉大な事業は、かならずいっそう雄壮な足どりて前進するだろうし、共産主義はかならず全世界で最後の勝利をおさめるであろう。

(一九六七年十一月六日)

十月社会主義革命のきりひらいた道に沿って前進しよう

偉大な十月社会主義革命五十周年を記念して

1967年 初版発行

定価 40 円

出版者 外 文 出 版 社

(北京阜成門外百万莊)

発行者 中 国 国 際 書 店

(北京 P. O. Box 399)

番号: (日)3050-1754

3-J-805P

00022

既刊図書案内

★毛沢東著作★

毛沢東著作選

上製
五八〇円
四四〇円

本書は、日本の広範な読者の毛沢東著作学習の必要にこたえて、毛沢東著作選読編集委員会が中国共産党中央委員会毛沢東選集出版委員会の指導のもとに編集した『毛沢東著作選読（甲種本）』（一九六五年四月第二版）を完訳したもので、中国革命の各時期における毛沢東同志の著作の一部三十九編がおさめられている。

毛主席語録

赤色ビニール表紙
一五〇円

毛沢東主席の人民戦争についての語録

赤色ビニール表紙
二〇円

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店（北京）

中国社会各階級の分析

新民主義論

延安の文学・芸術座談会における講話

アメリカの記者アンナ・ルイズ・ストロングとの談話

毛沢東同志は論じている――

帝国主義といっさいの反動派はハリコの虎である

「人民に奉仕する」「ベチューンを記念する」「愚公、山を移す」

全世界の人民は団結して、アメリカ侵略者と

そのすべての手先をうち破ろう

――アメリカ黒人、ベトナム南部人民、パナマ人民、日本人、コンゴ

(レ)人民、ドミニカ人民の反米正義の闘争を支持する声明と談話

三〇円

六〇円

四〇円

三〇円

四〇円

四〇円

三〇円

出版者 北京 外文出版社 発行者 中国国際書店 (北京)

敵に反対されるのは悪いことではなく、よいことである

書物主義に反対する

農業協同化の問題について

湖南省農民運動の視察報告

中国の赤色政権はなぜ存在することができるのか

大衆の生活に関心をよせ、工作方法に注意せよ

文学・芸術に関する五つの文献

三〇円

三〇円

四〇円

六〇円

三〇円

二〇円

二〇円

出版者 北京 外文出版社 発行者 中国国際書店 (北京)

★重要決定、理論論文★

国際共産主義運動の総路線についての論戦

目次内容

国際共産主義運動の総路線についての提案

ソ連共産党指導部とわれわれとの意見の相違の由来と発展
スターリン問題について

ユーゴスラビアは社会主義国か

新植民地主義の弁護人

戦争と平和の問題での二つの路線

根本的に対立している二つの平和共存政策

ソ連共産党指導部は現代最大の分裂主義者である

プロレタリア革命とフルシチョフ修正主義

フルシチョフのエセ共産主義とその世界的教訓

フルシチョフはなぜ退陣したか

付録

ソ連共産党中央委員会が中国共産党中央委員会にあてた書簡

ソ連共産党中央委員会がソ連各級党組織と全共産党員にあてた公開書簡

三四〇円

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店 (北京)

人民戦争の勝利万歳

——中国人民の抗日戦争勝利二十周年を記念して

目次内容

抗日戦争の時期における主要な矛盾と党の路線

統一戦線の路線と政策を正しく実行する

農民に依拠し、農村根拠地を樹立する

新しい型の人民の軍隊を建設する

人民戦争の戦略・戦術を実行する

自力更生の方針を堅持する

毛沢東同志の人民戦争にかんする理論のもつ国際的意義

人民戦争によってアメリカ帝国主義とその手先にうち勝つ

フルシチョフ修正主義者は人民戦争の裏切り者である

林彪 四〇円

中国共産党中央委員会のプロレタリア文化大革命についての決定

三〇円

中国共産党第八期中央委員会第十一回総会の公報

三〇円

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店 (北京)

近刊預告

★毛沢東著作★

毛沢東選集 (第一卷)

哲学論文四編

目次内容

実践論

矛盾論

人民内部の矛盾を正しく処理する問題について
人間の正しい思想はどこからくるのか

出版者 北京 外文出版社 発行者 中国国際書店 (北京)

